

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和2年2月18日

アンケート配布数48 回収数38

事業所名：児童発達支援事業所なゆた

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 |
|----------|--|---|--|--------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保 | 微細運動、粗大運動、認知課題で場所を分けている | 「はい」35 今は2人療育なので大丈夫だが、グループになるとやや狭いと思う 等 | 療育の参加人数によって室内の隔壁の開閉をおこなう |
| | 2 職員の適切な配置 | 心理士と保育士で役割分担をしており、それぞれの活動を別に評価している | 「はい」37 知識がないのでわかりませんが、子どもが1人でぼ～っとしていることはないと思います。 等 | 定員10人に対して4名以上の職員配置を可能な範囲で維持する |
| | 3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備 | 構造化を意識した部屋づくりをしている | 「はい」34 名札の様なもので場所を把握できるようにしてあるのでわかりやすいと思います。 等 | 部屋ごとに必要な構造化の把握を継続する |
| | 4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保 | 週2回の全体清掃を継続している | 「はい」38 | 週2回の全体清掃を継続する |
| 業務改善 | 1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画 | 療育終了後のカンファレンスと個別支援会議、土曜日の職員会議内で発信していくよう進めている | | 引き続き、職員間の連携を維持する |
| | 2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施 | 具体的な第三者による評価はあまり受けられていない | | 見学等の受け入れを積極的におこない、外部の方に見ていただくようにしている |
| | 3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保 | 職員間で必要と思われる研修を認知しあい、参加している。 | | 現在の当事業所としては言語療法や作業療法についての知識を深めていきたい |
| 適切な支援の提供 | 1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成 | LDT-RIに加えて当事業所の認知課題をベースにしたアセスメントシートを用いている。それをもとに療育のグループ分けをおこなっている | ・子どものベースに沿って進めてくれていた ・同じ課題を何度かするのは、ルールの理解をしてしっかり取り組むためか、ネタ切れなのか、子どもが好きな課題なのか、意図がわからないのでどちらともいえない。 等 | 引き続き、アセスメントの情報をもとに療育グループわけをおこなっていく |
| | 2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成 | 見学とアセスメント時の様子から療育の個別割合と集団割合を分けて実施している。それと連動させた計画をたてている | | 引き続き療育内容と計画の連動を意識して療育を実施していく |
| | 3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載 | 認知、コミュニケーション、情動調整の3領域に分類した支援計画を作成している | | 他の児童との関りや情動調整に関して具体的な場面や言葉を記していく |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|--------------|---|--|--|----------------------------------|----------------------------------|
| 適切な支援の提供(続き) | 4 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施 | 上記のように、3領域に分類した計画を立て、それをベースにした療育を実施していく | 特に記入無し | 支援計画と療育内容のマッチングを維持する |
| | 5 | チーム全体での活動プログラムの立案 | カンファレンス時に全職員でプログラムを立案している | ・毎回違うプログラム内容で子供が楽しく参加できていると思います。 | 引き続き全職員の意見をベースにしたプログラム作成をおこなっていく |
| | 6 | 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援 | 基本的には平日のみ療育を実施している | | 必要に応じて対応していく |
| | 7 | 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施 | カンファレンスで決定するプログラムの情報を毎週蓄積しており、ソーシャルスキル、活動性、言語性を意識して課題を組み合わせている | | 課題のアップデート、マイナーチェンジを意識し続ける |
| | 8 | 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底 | 8時間の勤務の中6時間が療育時間になっており、残りはプログラムの準備とカンファレンスのため、開始前の時間はあまりとれていない | | カンファレンスでフォローと確認はできている |
| | 9 | 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化 | 毎日毎療育後にカンファレンスをおこなっている | | 継続する |
| | 10 | 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施 | 指導監査の方に「よく記録をとられていますね」と評価していただいた | | 継続する |
| 11 | 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し | おこなっている | | 継続する | |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|----------|--------|--|--|----------------------|--|
| 関係機関との連携 | 1 | 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画 | 相談支援専門員の方が積極的な方ばかりで受動的ではあるがよく会議をさせていた | 相対評価 | 継続する |
| | 2 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施 | | 相対評価 | |
| | 3 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備 | | 相対評価 | |
| | 4 | 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有 | 保護者から希望がある際に、教育機関に提出するための療育記録のまとめを作成している | 相対評価 | 教育機関との連携を目指したよりよい形を模索していく |
| | 5 | 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、 | 児童発達支援事業所のため非該当 | 相対評価 | 児童発達支援事業所のため非該当 |
| | 6 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進 | 同法人に発達障害者支援センターのランチがあり、必要に際して主任相談員から指導を受けている | 相対評価 | 引き続き指導を乞う |
| | 7 | 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供 | 実施できていないと同時に、あまりニーズを感じない | 「わからない」20 必要ないと思います等 | 事業所としては、「障害のある子ども」を受け入れているのではなく「生活に困り感があり、行政から利用の許可が出た児童」を受け入れているので、「障害のある子ども」「障害のない子ども」という基準をもとにした評価ができない |
| | 8 | 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営 | 今はあまり無いが、来年度計画中 | 項目が見当たりません | 令和2年度に、発達に関する講演会を企画中 |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|---------------|--------|--|---|---|--|
| 保護者への説明責・連携支援 | 1 | 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明 | 見学に来ていただいた時に、構造化と応用行動分析を噛み砕いた内容の説明をさせてもらっている | 「はい」37 | 引き続き必要に応じて保護者に説明していく |
| | 2 | 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明 | 計画作成後、保護者と1対1の面談の時間をとらせていただき、内容説明をおこない、質問を受け付けている | 「はい」37 | 37件の「はい」をいただいているため、引き続き対応していく |
| | 3 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施 | 具体的な形を作ったの実施はできていない | 「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」17 ペアトレは無いが相談したらよく話を聴いてくれる | 必要に応じて相談をおこなっているが、具体的な形が必要だと思う |
| | 4 | 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底 | 可能な限り送迎時に保護者の方と話をするようにしている | 「はい」37 | 職員自身ももっと保護者の方と話をしていきたいという想いをもち続けているし、実践していく |
| | 5 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施 | したいと思っているししていると思っているが、本当にお母さんたちの役に立っているのだろうか | 「はい」37 | 本当にお母さんたちの気持ちを楽しませてあげたい |
| | 6 | 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援 | できていない | 「はい」7 必要ないと思います 等 | 以前のアンケートでも「必要ないと思います」との意見をいただいた |
| | 7 | 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応 | 重要事項説明書と契約の中で説明している。事業所内に連絡先を明記している | 「はい」17 「わかんない」19 | 苦情という形では開所以来受けていない |
| | 8 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 | 「障害のある子ども」を「診断がおりている児童」ととらえるならば、保護者が希望する際には我々が有している情報は可能な限り伝えるようにしている | 「はい」22 | 保護者の希望に沿って情報伝達をおこない、悩みがある時には一緒に悩み、一緒に解決の道を探す |
| | 9 | 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信 | 事業所の通信書を作っている | 「はい」27 | 引き続き「なゆたん通信」を作り、ホームページを更新していく |
| | 10 | 個人情報の取扱いに対する十分な対応 | 個人情報鍵のかかる棚に保管している | 「はい」34 名札の様なもので場所を把握できるようにしてあるのでわかりやすいと思います。 等 | 職員間で情報管理の徹底を確認していく |

| 区分 | チェック項目 | 現状評価(実施状況・工夫点等) | 保護者の評価 | 保護者の評価を踏まえた改善目標・内容 | |
|---------|--------|---|--|-------------------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 1 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底 | 事業所でオリジナルのものを作成しているが職員への周知が甘いと思う | 「わからない」10 帰宅時に一斉ではなく、1人ずつの方が良いと思う 等 | 療育終了後、入口のドアを開けた際の児童の動きの把握を徹底していく |
| | 2 | 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施 | 事業所を入れてもらっている建物の全体避難訓練に参加している。児童には、その日の課題の1つとして避難訓練を年に1, 2回実施している。 | 「わからない」20 | 実施しているが保護者への周知が甘い点を改善していく |
| | 3 | 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応 | 当法人の理事長から情報をもらい、職員全員で周知し | | 継続的に虐待に関する理解、権利擁護についての情報を入れていく |
| | 4 | やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載 | 見学、契約時に必要があると判断されるときには保護者と相談して決めている | | おこなっていないが、児童と職員双方の安全を守る上でいつかおこなわないといけない時があるかもしれない事は認識しておこなわないといけない |
| | 5 | 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応 | 契約時にアレルギーについて保護者から確認している。 | | 引き続き、契約時の情報収集をおこなう |
| | 6 | ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底 | 作っている | | 引き続き、必要に際して記入していく |